

退職者会報

平成26年
4月1日
第152号

一般社団法人 和歌山県職員退職者会
〒640-8585
和歌山市小松原通一丁目1番地(県庁本館4階)
電話・FAX (073) 428-2090
E-mail:w-taisyoku@ec5.technowave.ne.jp

第35回

総会へ元気な顔を見せてください

総会の開催ご案内

陽春の候、会員の皆様には、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会の運営・活動にあたり格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、平成26年度の総会を次のとおり開催いたしますので、お誘い合わせの上、ご出席ください。

総会後には、交流懇親会も開催いたしますので、日頃ご無沙汰な方々と近況など語り合い楽しい一時をお過ごしください。

なお、各支部の総会も下記のとおり開催されますので、ご出席くださいますようお願いいたします。

平成26年4月1日

一般社団法人 和歌山県職員退職者会

会長 尾崎 武久

日時 平成26年5月29日(木)
午後2時00分 開会

場所 ルミエール華月殿
(和歌山市屋形町2-10
TEL:073-424-9392)

・議題

- (1)平成25年度事業報告・収支決算報告
- (2)平成26年度事業計画(案)・収支予算(案)
- (3)役員の変更
- (4)その他

・交流懇親会 会費 5,000円

※出席・欠席につきましては、別添同封の「返信用はがき」で5月16日(金)までに必ずご返事をお願いします。

※欠席の場合は、「委任状」に記名・押印の上必ずご返送下さい。

※近況欄には、皆さんが楽しみにしている【あなたの近況】を是非お書き下さい。(次号会報に掲載)

各支部総会

支部	月日	場所	支部	月日	場所
和歌山	5/29(木)	ルミエール華月殿 (和歌山市)	有田	5/16(金)	鮎茶屋 (有田市)
海草	5/24(土)	かじか荘 (紀美野町)	日高	5/14(水)	花ご坊 (御坊市)
那賀	5/10(土)	ホテルいとう (岩出市)	西牟婁	4/24(木)	銀ちろ本店 (田辺市)
伊都	4/20(日)	橋本商工会館 (橋本市)	東牟婁	5/15(木)	ユーアイホテル (新宮市)

詳細につきましては、各支部よりご案内いたします。

2014年度年金額改定マイナス0.7% (地公退ニュースより)

厚生労働省は 1 月 31 日に 2014 (平成 26) 年度の年金額は 0.7% 引き下げとする改定を発表した。6 月分から年金が減額される。

年金額は例年 1 月 26 日の属する週の金曜日に総務省が公表する「平均消費者物価指数の対前年比較変動率」に対応して改定されることになっている。

前年の物価と比較するとプラス 0.4% だったが、「名目手取り賃金変動率」がこれを下回るプラス 0.3% だったため、低い方を改定率とする定めによりプラス 0.3% になったもの。

これとは別に「物価特例水準 2.5% の段階的解消」として昨年 10 月のマイナス 1% に続き本年 4 月マイナス 1% が既に決定されていたので、差引マイナス 0.7% とされた。

年金額を物価 (または賃金) に連動してスライドさせることは私達の要求でもあるので、物価 (賃金) 統計による年金額改定は減額を含めて納得できる。

しかし、私達は「特例水準は国会の全会派一致で決めてきたもので、解消するときは物価上昇時に相殺すべき」と主張して名目額の切り下げには反対してきた。

確定申告関係説明会

1 月 28 日 (火) 書道資料館

県庁を退職された方々には、初めての確定申告であり、申告書の記入方法や解釈等で疑問なこともあろうかということで、今年も確定申告関係の説明会を開催いたしました。

和歌山税務署のご協力で実施させていただき、「所得税の納税額計算方法」「源泉徴収票の見方」「e-Tax での送信」などの説明を受けました。

参加者は、昨年退職された方が中心で 36 名の方々に参加して頂きました。

また、当日仕事等の関係で参加できないが資料だけ欲しいという方も何人かありましたので、資料を送付させて頂きました。

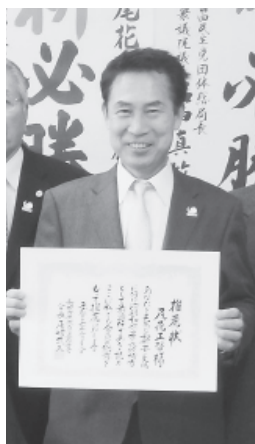
実際に確定申告書に記入する方法などの説明を受けましたが、皆さん無事適正な確定申告ができましたか。

支部だより

和歌山支部

おばなまさひろ
尾花正啓氏を推薦

和歌山支部 (支部長: 尾崎武久) では、去る 2 月 13 日 (木) に書道資料館において支部役員 51 名の出席をいただき役員会を開催しました。



尾花氏に推薦状を渡す

協議事項として、わかやま国体、わかやま大会での花いっぱい運動の取り組みや競技会場等におけるボランティア活動への参加申し込みについて協議し、会員の皆さんに参加・協力を呼びかけることを決定しました。

また、和歌山市長選挙の取り組みについても協議した結果、立候補を表明して

いる私達和歌山県職員退職者会会員の尾花正啓^{おばなまさひろ}氏の推薦を決定しました。

尾花^{おばな}氏については、当面後援会活動に取り組み、会員の皆様に入会をお願いすることを決定いたしましたのでご支援・ご協力をお願いします。

海草支部

平成 26 年新年・健康講演会

海草支部 (支部長: 林 博行) では、平成 26 年 2 月 8 日 (土)、KIC 海南医療センターにおいて健康講演会を開催しました。(参加者数 44 名)

前日の大雪で残雪の残る中、更に当日は冷たい雨で足下が悪いにも拘わらず大勢の参加者を迎え、「健康講演会」を開催しました。

林支部長の開会挨拶に続き、海南医療センター事業管理者の小山 陽様、昨年健康講演会でご講演頂いた海南医療センター院長山田陽一先生からご挨拶を頂戴しました。

健康講演会では和歌山県立医科大学 理事長・学長



の板倉 徹先生から『戦国武将の脳 乱世を生き抜く力と健康法』のテーマでご講演を頂きました。今年のNHK大河ドラマが『軍師官兵衛』ということもあって、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康等々の戦国時代の名だたる武将の「行動パターン」、「思考パターン」、「性格・性癖」から彼らの脳の特徴について解りやすく説明下さいました。

さらには我々高齢者のための「認知症を防ぐ日常生活」「日常生活における記憶の鍛え方」等についてもお話し頂き大変有意義なご講演を頂きました。

板倉先生のご講演は、極めて難しい話を素人にも解りやすくお話し下さるので参加者に大変好評でありました。

第2部の新年会は、海南市藤白「神田屋」で、板倉 徹先生、小山 陽氏、山田陽一先生にもご参加頂き開催いたしました。

冒頭、林支部長の開会の言葉に続き、井ノ本副支部長の乾杯の音頭の発声で開宴しました。新年会では、お酒が進むとともにそこかしこで歓談されたり、お酒を酌み交わしたりで皆様方終始和やかに過ごされていらっしやって、閉会予定時刻を過ぎても話の種は尽きないようでした。

閉会の挨拶は石橋副支部長より、「5月の海草支部総会への全員の出席をお願いします」と言葉を添えて行いました。



那 賀 支 部

「文化講演会」開催について

那賀支部（支部長：小倉正義）では、去る2月6日（木）文化講演会を那賀振興局会議室に置いて開催いたしました。

当日は、60名の参加のもと木村竹志（旧姓：石井毅）氏を講師にお迎えし「私の野球人生」をテーマにご講演頂きました。

ご承知の通り、木村氏は箕島高校で春、夏連覇した当時の投手、実業団では住友金属で優勝しその後、西部球団で活躍されました。

この日はまさに朝日新聞で星稜高校との戦いが連載されており、時機を得た講師となりました。木村氏は野球を始めるにあたり、お兄さんに野球をするなら朝早く起きて走れと言われ、毎朝20円もって近くの2つの神社へ10円ずつお賽銭をあげ甲子園へ行くと誓ったそうです。

何事も、毎日していると苦しいことも当たり前になり習慣になる、毎朝毎晩歯磨きしているのと同じようになる。

最後まで諦めなかった事があの星稜戦の275球につながったと、お話していました。

自分の信念は「克己」、いつも自分を見つめ常に前に向かっていくということを心に持っているそうです。

また、野球を通じて学んだことは、チームでは団結力、また、自分を応援してくれる皆さんに対し、期待に応えることを信念に今でも常に相手の立場を考え行動しているとのことでした。

プロ野球退団後はNPO法人を立ち上げ、少年野球の指導はもちろん青年の健全な育成に尽力しておられます。

日本一の富士山へ子どもたちを連れていき、登頂に成功すると、子どもたちはさらに次の日本一に挑戦する意欲を持つということも話されておりました。

木村氏は、厳しい野球人生の中で培った経験、苦勞を当時のプロ野球選手のエピソードも交えながら楽しく講演頂きました。

我々も、県職員として長年色々な職種、事務に携わってきた経験を地域のために還元して行かなければならないと講演を通じ痛感した次第です。

有 田 支 部

防災講演会開催

有田支部（支部長：木村榮行）では、平成7年1月17日兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）、平成

23 年 3 月 11 日東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）、同年 9 月紀南地方を襲った台風 12 号による水害は記憶に新しい。

昨年は連日の猛暑、またゲリラ豪雨が多発し、日本各地での水害や竜巻等々。異常が異常でなくなっている天候に不安を抱く。

東海・東南海・南海地震はいつ起こるのか？そんな中、防災意識の高揚を図り、かけがえのない命を守るため本講演会を実施した。

1 月 30 日、広川町の「稲むらの火の館（濱口梧陵記念館・津波防災教育センター）」で開催。参加者は 72 名（会員 31 名、一般 41 名）。講演会場は三階のガイダンスルーム。この部屋は、イベント会場の他、災害時の一時避難場所や備蓄場所としても使えるようになっている。木村支部長開会挨拶の後、稲むらの火の館熊野享館長の「梧陵の心を伝えます・津波災害から身を守るために」の演題で講演が始まった。濱口梧陵といえば「稲むらの火」として知られている。昭和 12 年から昭和 21 年まで小学校の国語の教科書に載り、「これは、たゞ事ではない」から始まるあまりにも有名な話。

この話は、人命尊重の精神を伝えたかった、とのこと。

津波で家や財産だけでなく、復興への気力や生きる望みを失った村人を、堤防を築くことにより、村人の自立を目指し、生きる勇気を与えた。これは、100 年後にくる津波のための事業（津波対策）であり、村人に仕事を与える事業（失業対策）でもある。また、数々の偉業は、教育・医学・政治等広範囲に及び、郷土愛・



人間愛に富んだ人であった。

講演の次は、3D 津波映像シアターで「その日、命をまもるために」と「稲むらの火」の観賞。「その日、命をまもるために」は、津波に対しての避難三原則、①想定にとられるな、②最善を尽せ、③率先避難者になれ、と教えてくれる。

また、三陸地方には「津波てんでんこ」という言い伝えがあり、「てんでんこ」とは「てんでんばらばらに」という意味で、「地震が起きたら家族のことを考えずにすぐにてんでんばらばらに逃げなさい」ということ。岩手県釜石市の小・中学生は、これらのことを授業等で徹底して学び、日頃から津波に対し、より高くより安全な所に逃げる訓練をしているらしい。東日本大震災でも、みんな無事であり【釜石の奇跡】と言われているとのこと。訓練は日頃の賜であり、多くの命が救われた。

「稲むらの火」は、安政元年（1854 年）地震津波に襲われた広村で濱口梧陵翁が稲むらに火を放ち村人を救い、広村堤防を築き、また、米や農機具を分け与え、元の広村に戻すために全力を尽くした話。この後、濱口梧陵さんの偉大な功績や心の広さを感じさせてくれる濱口梧陵記念館を見学。梧陵さんの偉業に頭が下がる。貴重な品も展示されている。当地方では、濱口梧陵さんのことを「梧陵さん」と言い、「梧陵」と呼び捨てにする人はいない。敬意を払いつつもみんなに愛され親しまれている。

皆さん、「稲むらの火の館」にお越しください。「梧陵さん」に会いに来てください。

また、どうすれば津波から身を守れるかを学ぶために…

西牟婁支部

磯釣り大会について

西牟婁支部（支部長：岡本光生）では、平成 25 年 12 月 5 日（木）早朝 5 時 30 分に白浜町市江地内の腕自慢？の 11 名が参集し、各釣り場に分かれて竿を出しました。

当日は水温が 18 度と低く、又風が強くそれぞれに工夫を凝らした結果、まあまあ！の釣果でした。年 1 回は行いますので、会員の皆さんの参加を待っています！！

釣果は以下のとおり

- ・グレの部 1 位 坂本 正二平 さん
- 2 位 河野 磯次 さん
- ・イガミの部 1 位 裏地 好晴 さん
- 2 位 翠川 忠康 さん

- ・その他 1位 河野 磯次 さん
- 2位 坂本 正二平 さん

ふれあい文化祭「明日へのかけ橋フォーラム」に参加して

今年度2回目の「福祉フォーラム」が、認知症を正しく理解し、認知症の人とその家族を支え、誰もが暮らしやすい地域づくりを目指す「ささえあうまちづくり」をテーマに開催されました。

参加者は、福祉委員、学校関係者、地域福祉に携わる地域住民、ボランティアなどの皆さんで約100名です。会員の参加は10数名。

講演の「認知症を学び地域で支えよう」では、認知症サポーターキャラバンメイトの田辺市やすらぎ対策課の3名の方による、講演とDVD、認知症予防に良いレクレーションと笑いと軽快な動きを盛り込んだ内容でした。

まず早期診断、早期治療が非常に重要!!、それに発症のリスクを少なくするためには、生活習慣（運動や食事）に気を配る事、脳の活性化を図る（楽しく行う、過ごす）事だそうです。

（第20回ふれあい文化祭「明日へのかけ橋フォーラム」）

- ・主催 社会福祉法人 田辺市社会福祉協議会
- ・後援 和歌山県職員退職者会西牟婁郡支部、
田辺市福祉委員連絡会 他
- ・日時 平成26年2月14日（金）
午後1時30分～3時30分
- ・会場 田辺市「ガーデンホテルハナヨ」

東牟婁支部

「東海・東南海・南海地震」について

東牟婁支部（支部長：汐崎 光）では、例年1月から2月に健康、年金制度、医療制度などについての研修会に併せ、新春懇談会を開催しております。

今年度の研修会は、南海トラフで想定されるマグニチュード8～9の地震が30年以内に発生する確率は60～70%と言われている中、防災意識の向上を計るため、1月24日、太地町のご協力をいただき、自主防衛組織の皆様のご参加を得て、太地町公民館において開催しました。

開会に当たり、汐崎支部長から、本会の趣旨説明と参加者へのお礼、平成7年の阪神淡路大震災及び平成23年の東日本大震災から得た教訓や防災意識を風化させないこと。また今後起こるであろうと言われる南

海トラフで想定される地震から命を守るために本研修会を開催したことなどのあいさつがありました。

講師には、出張、県政お話し講座として東牟婁振興局地域振興部の北主査にお願いして、「東海・東南海・南海地震」についてと題して、約1時間ご講演いただきました。

北さんからは、東日本大震災の巨大津波から、子どもたちが大人顔負けの「判断力」や「想像力」で自力で生き延びた「釜石の奇跡」と呼ばれる危機対応や、東海・東南海・南海地震の巨大災害の想定や避難の原則、また県の防災・減災対策の取り組みなどについてお話いただきました。お話しはプロジェクターを使って、太地町の避難場所やハザードマップ、耐震診断の補助制度などの説明もあり、地元の方々にもわかりやすかったと大変好評でありました。

この研修会では、もし地震が起こったとき、自分の命は自分で守るという意識付けと、それを実践に移す避難3原則『①想定にとらわれない ②最善をつくせ

③率先避難者となれ』ということなど多くのことを学び、少しでも参加された皆さんの防災・減災意識の向上に資することができたのではないのでしょうか。



新春懇談会

研修会に引き続き、場所を太地町国民宿舎「白鯨」に移し、招待者を含め20名の参加を得て新春懇談会を開催しました。

湊口副支部長の開会のあいさつでは、久しぶりの再会の喜びと、来年も元気でお会いできることをお願いし、加来副支部長の乾杯で開宴となりました。

料理は、太地町ならではの「鯨のお造り」や「鯨の茹でもの」なども出され、皆さん舌鼓を打ちました。

会員の皆さんは、久しぶりの顔合わせとあって話に花が咲き、あっという間の2時間を過ごし、来年の再会を誓い合いました。

会員さんの声

あゝ江田島

日高支部 湯川 忠

あれは、過ぎた昭和の夢のこと。昭和 39 年東京オリンピックの前の年でした。昨年は、海上自衛隊幹部候補生学校一般候補 13 期生が 1 年間の教育を終えて、表棧橋から練習艦隊に乗り組んで以来、丁度 50 年の節目の年だった。当時の私は 23 歳でした。去年の 11 月 14 日夕刻、その区切りの年を祝おうと、81 人が広島県 JR 呉駅前の呉阪急ホテルに集まった。青年時代に海に憧れていたの、海上自衛隊に志願した。3 年間の自衛隊生活で終わりました。県職員に転身してから、20 年前に同期会に出席していたが、久しぶりに参加した。懇親会に先立ち昭和 38 年欧州遠洋航海の記念ビデオ「針路西へ」が上映され、洋上訓練の日々が走馬灯の如く甦る。当時の遠航は東南アジア・中近東・欧州方面でしたが、最近是世界一周のコースですので、訓練が濃密で厳しいことでしょう。



懇親会で亡くなった 32 名の同期の冥福を祈って、黙祷。若くして自衛隊を退職した因縁(?)でか、テーブルスピーチのトップに指名されたので、自衛隊和歌山協力会での活動振りを強調した。翌日江田島へ渡り、幹部候補生学校へ。校長、

副校長の案内で校内を見学。新しい学生館の食堂に案内され、丁度金曜日でしたので海上自衛隊定番の「カレーライス」をいただいた。食後は我々 4 人につき 2 人の飛行幹部候補生が付き添い、校内を案内してもらった。我々の時代は女性は入学拒否でしたが、今日では 20 名が学んでいる。まさに男女共同参画社会の時代です。現場では、護衛艦に女性が乗り組み、女性パイロットも活躍しています。隔世の感があります。候補生の皆さんには我々のために貴重な昼休みを割いていただき、気の毒だったが、OB を大切に作る学校側の温かい配慮に感謝。

短時間であったが、自由に校内を散策、多分最後の江田島訪問になるであろうと思い出を胸に焼き付け、同期の桜と再会を誓って、別れを惜しんだ。私の候補生時代に洗脳(?)された教訓は、「五省」であります。これは、旧海軍の士官養成機関であった海軍兵学校において、生徒がその日の行いを反省するために自らへ発していた五つの問いかけのことであり、海上自衛隊幹部候補生学校となった現在でもその伝統は受け継がれている。

- 至誠に悖るなかりしか
- 言行に恥づるなかりしか
- 氣力に缺くるなかりしか
- 努力に憾みなかりしか
- 不精に亘るなかりしか

この標語らしきものは、日露戦争でバルチック艦隊を打ち破った東郷平八郎提督の遺訓です。学生生活の日課(19:30~21:45)で自習時間の終わりに海軍伝統の五省を唱え、今日一日を振り返ります。

74 歳の私ですが、五省を心に言い聞かせ老体に鞭打って頑張っています。多くの若者が江田島生活に挑



海草支部 三宅 保州(保)

四つ這いになれる気がする無礼講
 歩くのが何よりという処方箋
 酒好きの故人だったと無礼講

和歌山支部 浅原 孟

ゆるキャラのマラソン大会見てみたい
 呆け除けに消費税率かけてみる
 レジ通る頭の色はバーコード

西牟婁支部 那須 正治

春の陽に草を引きつつ居眠りす
 蝶々がつかう様見て農薬止め
 大根の妖しき姿に思出し

次号(七月号)は総会号となりますので、投稿等は掲載いたしません。十月号掲載投稿等は八月八日(金)までに投稿をお願いします。難解な漢字等には、ふりがなをお願いします。

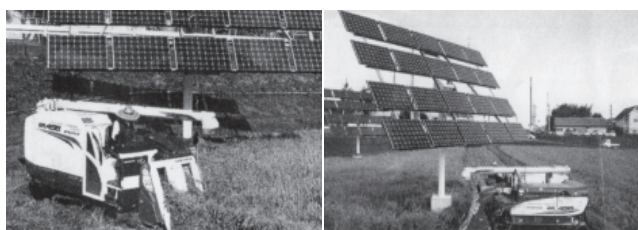
戦していただければ、この学校の先輩として望外の喜びです。

新農業経営について

東京都日野市 久保直一

ある資料で、姫路市が市所有の農地を活用し、追尾型太陽光発電システム(トラッキングシステム)で「農業収入」+「売電収入」の両立可能な新しい農業経営の検証をしたとの事を読みました。

農地を活用(農作物を栽培)しながら、追尾型太陽光発電システムを設置し、再生可能エネルギーと温室効果ガス削減を図り安定した地域振興。



追尾型太陽光発電システムとは、取り付けられた太陽光発電パネルが自動で太陽の方向を追尾し、高い発電量を実現(同容量の固定型システムに比べ積算発電が高い)システム。

山下重良博士の『古代日本原紀』 自費出版に感動

海草支部 森本純平

那賀支部会員、元上司で果樹園芸試験長の山下重良博士は、現役時代は農学分野で数々の功績をあげら

れたが、退職後は地元、紀の川市桃山町で「歴史の会」の重鎮として、今回、「日本人の先祖と建国黎明期の歴史『古代日本原紀』」830頁の大作を自費された。

彼曰く「捏造した古事記・日本書紀を誑かした政権の正体、建国時代に汗を流した先人たちや先祖の労苦を忘れること勿」と。

そして「古事記・日本書紀・続日本書紀、正史の創作説話や偽装で迷宮入りとなっている古代日本の歴史と明らかにすべく、古史古伝等、古文献や先学諸氏の研究にも目を通し、古代史の舞台となった出雲・大和・山城・河内及び九州の古社寺の縁起や社伝、古墳の墓誌等の画像解析から得た被葬者の在世実年代、遺跡、史跡の発掘で得られた考古資料を参照しながら書き上げられた。古事記や日本書紀を底本として書かれた教科書で習った国史とは大きな違いがあり、それらの本が隠し偽った史実が明らかになりました」と頂いた。

退職後の果樹研究は材料や機器を要するため、歴史の研究に進まれたことを思い、その情熱に私は感動した。本書は9,700円、興味ある人は直接お申し込みください。

那賀支部 山下重良さんの著書が
昨年10月に販売されました。

『古代日本原紀』

●日本人の先祖と建国黎明期の歴史。

実費9,700円(送料別)

〈郵送の場合は代金引換にてお届けします。〉

〈お問い合わせ〉

山下重良さん：0736-66-0670



和歌山支部 辻 博堂

引鴨の引く時迫り昂れる

菊根分また一年の始まれり

軒下にビニール垂らす雀の巢

川柳

伊都支部 堀江和夫

初恋が会釈をくれる長寿会

リハビリの一步見守る目が温い

天の岩戸妻がちよいちよい閉じこもる

伊都支部 山本勝代

ラメ光るファツションショーは男です

花賣りの声は上手に部屋に入り

言いたいこと笛に込めてる車掌さん

和歌山支部 橋本諭吉

自慢の子親は俺かとパパ不安

お客様選びませんと美人の湯

脳トレの百引く七はまだ出来る

和歌山県職員退職者会 割引契約協定施設等の一覧(追加)

- 一般の利用価格より割引いた価格で利用できます。
- ※利用に際しては、必ず「退職者会会員証」を携帯提示してください。
- ※利用にあたって、予約が必要なものは必ず優待利用で「和歌山県職員退職者会会員」であることを申し出た上で行ってください。
- ※旅行者等仲介業者が介在した場合、割引は利用できません。
- ※他の優待券との重複利用はできません。
- ※会員の家族も優待を受けられる施設もありますので、利用の際に各施設に確認して下さい。

○ウエティンホテル淡路

兵庫県淡路市夢舞台 1 番地
TEL : 0799-74-1111

○熊野古道の宿 霧の郷たかはら

田辺市中辺路町高原 826 番地
TEL : 0739-64-1900

○串本ロイヤルホテル

東牟婁郡串本町サンゴ台 1184-10
予約専用 TEL : 0735-62-7730

○紀州南部ロイヤルホテル

日高郡みなべ町山内字大目津泊り 348
予約専用 TEL : 0739-72-5888

○株式会社 JTB 西日本和歌山支店

和歌山市本町 1 丁目 43 和歌山京橋ビル
TEL : 073-432-5860

会員へのダイレクトメールの発送について

当会では、会員の福利厚生の一環として下記の会社に会員の住所・氏名が掲載された宛名ラベルシールを会社の担当者に渡し、定期的にダイレクトメールの発

送を行っております。(停止を希望されている方は除きます。)

- 丸大食品株式会社
- 新日本法規出版株式会社
- アメリカンファミリー生命保険代理店

今後、上記以外の会社(例えば和歌山県民文化会館での催し物など)からのダイレクトメールの発送させていただく機会もあるかと思われまますので、現在送付させていただいている方の中で今後のご提供の停止を希望される方、または現在発送を停止させていただいている方の中で、内容によって発送を希望される方がいらっしやいましたら、お手数ですが事務局までご連絡下さいますようお願い致します。

〈退職者会事務局：073-428-2090 中野・藪上〉

「高齢・退職者第18回囲碁・将棋大会」 の結果について

去る3月12日(水)、プラザホープにおいて県内の高齢・退職者団体相互の交流・親睦を目的に開催されました。

参加総数は49名で、当会からは12名(囲碁8名、将棋4名)が参加しました。

会場は、和やかな雰囲気の中にも気迫と闘志を感じさせる面々がそれぞれの思いで盤面と向き合いました。

日頃の実力を十分発揮された方、また、単純な読み違えで悔しい思いをした方もあり、一喜一憂の時間を過ごされていました。

来年も、元気で多くの皆さん方が参加されますようお待ちしております。

成績は、次のとおりです。

囲碁の部

- Aクラス 優勝 請川 皓雄さん(有田支部)
- 準優勝 畑村 半亮さん(和歌山支部)
- 3位 大橋 友紀さん(和歌山支部)

将棋の部

- Aクラス 優勝 土井 昇蔵さん(和歌山支部)
- 準優勝 小坂 和生さん(和歌山支部)

俳句

和歌山支部 阪上 明男

風花の那智のお山をふりかへり

待春の御陵に近き畦のみち

雨音の大きくなりし雛の宵

東牟婁支部 木本 瑞子(殖巳)

冬怒濤もてあそばるる座礁船

つつがなく生きるも誉れ去年今年

瀬びつく遺愛の硯石洗ふ

東牟婁支部 尾崎 嘉代子

裸木や木々のつぶやき筒抜けに

品格を崩さず優雅梅香る

亡父偲ぶ新茶供ける息子娘

海草支部 岩間 文鳥

ちち母のねむる背山に鳴く雉子

背なよりの陽に透け開帳渡来佛

風光る野猿屋根とび法話切れ

長寿のお祝い

次の方々が、めでたく80歳の傘寿をお迎えになりました。益々お元気でお過ごしなされますようお祈り申し上げます。(敬称省略)

会員のご逝去

次の方々が、ご逝去されました。慎んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称省略)

※個人情報保護のため掲載できません

※個人情報保護のため掲載できません

文芸欄

みなさんの広場です。どしどしご応募ください。

短歌

那賀支部 赤井順子

三世代食卓囲みにぎにぎと

生きゆき来たり舌の幼日

野を染めて夕日の沈むひとときは

古稀迎へたる祈りの明かり

春キヤベツしやりしやり剥がすキッチンに

朝の光は旋律となる

和歌山支部 田沼小一郎

初詣で一億人の神頼み

無病息災学業成就

何時の日か孫と祝盃あげるのを

吾れは夢みて吉報を待つ

お互いに「人」「物」「場所」を浮かび来ず

「アノヒト」「アレ」で話が終わる

西牟婁支部 榎本せい子

銀盤に舞う選手らと共に在り

ソチの熱気に思い馳せつつ

白き花咲くと見ていし湾の中

さざ波に鳥さつと飛び立つ

今朝もまたばったり会いぬその人に

名前を思い出せないままに

職員退職者会の ホームページができました

4月1日より、職員退職者会のホームページを開設いたしましたので、一度ご覧になってください。

出来るだけ充実したものに更新していきます。

退職者会の行事やお知らせ等もできるだけ搭載する予定です。

なお、個人情報保護を考慮し、会報の慶弔欄の公表は差し控えていただきますのでご了承ください。

会員皆様方のご意見をお待ちしています。

「和歌山県職員退職者会」で検索してください。

アドレス <http://w-taisyok.jp/>



=自動車保険の割引が4月からなくなります=

(※ 割引復活もあるので契約の継続をお願いします。)
和歌山県職員退職者会の会員が自家用車の任意保険に入った場合、現職員と同様の割引率が適用されることとなっています。

26年度については、現職員は団体としての契約金額と支払い金額との関係で割引が適用されません。

従って、連動する職員退職者会会員任意保険も見

送られることになりました。
しかし、今後の状況によっては、割引が復活されることもありますので、引き続きのご加入をお願いします。
今回割引が適用されない保険会社
○ 東京海上日動 ○ 損保ジャパン
○ あいおい損保 ○ 三井住友
※なお、全労済「マイカー共済」は、現状どおりです。

事務局からのお知らせとお願い

1. 会費の納入についてお願い [平成 26 年度会費]

- ・ [口座から自動引き落としの方]
紀陽銀行、農協、郵便局は、5月7日(水)、その他の金融機関は、5月27日(火)が引き落とし日となります。
- ・ [労働金庫の口座からの自動引き落としの方]
8月15日(金)が引き落とし日となります。
- ・ [振込での納付の方]
この会報に同封の振込用紙で、5月末までに納付をお願いします。
- ・ [3月末退職の新入会員の方]
後日、振込用紙をお送りします。
- ・ [過年度会費が未納の方]
本年度分と併せて納付をお願いします。

2. H26年度版「県職員録」が5月頃発行予定 [申し込み受付中]

「県職員録」を軒旋しますので、ご希望の方は4月18日(金)までにお申込下さい。

価格は未定ですが、昨年と同程度であれば、800円位です。(郵送の場合は、別途送料350円位をご負担下さい。)

3. 会員名簿の発行について

今年は改訂版を9月に発行予定ですので、住所、電話番号、勤務先等を変更されている方は、なるべく書面(ハガキ等)で事務局までご連絡下さい。(通常総会出欠ハガキの近況欄に書き添えていただいても結構です)

4. メールでのご投稿やお問い合わせ

会報の「文芸欄、会員の声」のご投稿やお問い合わせ等メールで送信していただいても結構です。

E-mail アドレスは、
w-taisyoku@ec5.technowave.ne.jp です。



会報に関するご意見やご要望等をお寄せ下さい。
沢山の投稿をお待ちしています。「会員の声」は原稿用紙2枚以内、「文芸・俳句等」は3句以内、その他写真等もお気軽にお送り下さい。

★次号(7月号)は総会号となりますので、
投稿等は掲載いたしません。

10月号掲載投稿等は、
8月8日(金)までに
お送り下さい。

